

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習指導Ⅲ		科目コード ²	17Y770	担当者	島田 幸一郎			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	通年	単位数	1	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設（保育所以外）における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもの観察や関わり方の視点を持つことができる。					◎	○	○	◎	◎	○
2.	保育技術を高めることができる。										
3.	保育士としての自己課題を明確にできる。										
4.											
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
施設担当教員を中心として、学科教員がオムニバスで授業をおこなう。講義やグループ学習、実技、講演など授業内容に応じた形態となる。						受講態度（40%） 提出物（30%） 発表内容（30%）					
準備学修						課題等への対応					
保育実習Ⅰ（施設）で学んだことを整理しておく（7時間）。また、「教育・保育実習の手引」「実習記録ハンドブック」を熟読しておく。（8時間）						実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション										
第2回	実習先事前訪問について										
第3回	施設での生活について（Ⅰ）										
第4回	施設での生活について（Ⅱ）										
第5回	卒業生講演会										
第6回	実習施設の情報収集（Ⅰ）										
第7回	実習施設の情報収集（Ⅱ）										
第8回	保育技術実践（保健・衛生）										
第9回	実習課題について										
第10回	実習先事前訪問										
第11回	実習先事前訪問										
第12回	実習報告会										
第13回	実習事後指導										
第14回	意見交換会										
第15回	実習総括と今後の課題										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」						保育実習指導Ⅰ（施設）で学んだことに併せて、施設で生活する子どもや利用者一人ひとりに応じた支援の内容や方法についての事前学習が必要です。施設の実情や子ども・利用者の実態を理解してしっかりと実習課題に反映してください。					